



23区消費者団体活動情報交流会

“ざっくばらんに交流しよう!” ～私たち消費者団体が元気になるために!!パートII～



【日時】2015年12月7日(月)13:30～16:15 【会場】東京都消費生活総合センター 17階 I II
 【参加者】消費者団体(22名)、生協(13名)、弁護士団体(5名)、NPO団体(3名) 計43名
 【主催】「23区消費者団体交流会」実行委員会 【協賛】東京都消費者月間協賛事業
 <実行委員会参加団体> 新宿区消費者団体連絡会、大田区消費者団体連絡協議会、目黒区消費者グループ連絡会、世田谷区消費者団体連絡会、中野区消費者団体連絡会、練馬区消費生活センター運営連絡会、葛飾区消費者団体連合会、生活協同組合パルシステム東京、東京南部生活協同組合、TOKYO消費者行政充実ねっと、東京都生協連消費者行政連絡会、東京消費者団体連絡センター

【スケジュール】

- 13:30～ 開会挨拶 釜井 英法(TOKYO消費者行政充実ねっと)
- 13:35～ 活動報告～団体紹介と地域での連携した取り組み～
 - ①NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク
報告者:理事長 栗林 知絵子さん
 - ②目黒区消費者グループ連絡会 報告者:代表 田口 三千代さん
 - ③生活クラブ生活協同組合・東京 報告者:理事長 土谷 雅美さん
 - ④立川市消費者団体連絡会 報告者:会長 横幕 玲子さん
- 15:00～ ワークショップと発表 テーマ:私たち消費者団体が元気になるために!
- 16:10～閉会挨拶 羽賀育子(中野区消費者団体連絡会)
- 16:15 閉会



【司会】大島いずみ
(練馬区消費生活センター運営協議会)



【挨拶】釜井英法
(TOKYO 消費者行政充実ねっと)

【開会挨拶】 皆さんは普段から各地域で活動をされていると思いますが、新しい人の参加がないなど同じ苦勞があります。新しい人が加わると活気が出てくるので、少しでも良いから関わってもらい、その人がまた新しい人を連れてきてくれるとよい。今日の交流会の活動報告や意見交換を通して、他団体との連携や消費者団体同士の連携などを進め、活動の活性化や消費者行政の充実につなげていく機会にしていきたい。

団体紹介と地域での連携した取り組み

NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 報告者:理事長 栗林知絵子さん



子どもを遊ばせるために公園に通っているうちに、地域にはさまざまな困難を抱えた子どもたちがいることを知り、貧しくて困っている子どもを、地域で支えるネットワークを作り、地域で見守り育て、環境に左右されることなく自分らしい人生を歩んでもらいたい、と“おせっかいおばさん”は活動しています。

<活動>

遊びのサポート:池袋本町プレーパーク

*「冒険遊び場」と呼ばれ、思いっきり外遊びができる場です。遊びを通じて生きる力を育みます。

学びのサポート:無料学習支援

*教育格差による貧困の格差をくいとめるために、大学生や地域の人が先生になり学びの場を保障します。進路や将来の相談もできます。

暮らしのサポート

:要町あさやけ子ども食堂

*子供1人でも入れる食堂で、みんなでわいわいと、栄養バランスの良い夕食を食べられます。

:夜の児童館

*大学生と一緒に宿題をしたり、遊んだり、手作りの夕食を食べたりします。

<地域での連携>

子どもの困っていることを可視化して、地域の子どもや学生ボランティア、何かに関わりたいと思っている人たちの協力により子どもの居場所を作っています。ゆるく関わる人たちとつながること(コミュニティ・エンパワメント)で地域を変え、子どもの未来を変えることができると思っています。

目黒区消費者グループ連絡会

報告者：代表 田口 三千代さん



<団体紹介> 1976年に30グループで「目黒区消費者グループ連絡会」発足。行政と共催で消費生活展を開催。現在の参加グループは5団体です。

幼稚園保護者の任意のサークル「平塚幼稚園暮らしを守る会」も参加。食と環境に関心が高い人が多いので、幼稚園で食の企画を実施しています。子育て世代と年配世代の生活を理解してもらうには、コミュニケーションが大事です。

<主な活動>

- * 年2回の研修会や施設見学会などを開催。
- * 区長との懇談(7年目)や消費生活展に参加。
- * 区主催の手づくり手前味噌講座講師を担当(15年目)
- * 大豆畑トラスト運動(1999年よりスタート)
- * 目黒区の審議会や協議会などに消費者団体として出席

生活クラブ生活協同組合・東京

報告者：理事長 土谷 雅美さん



<団体紹介> 全国に32生協あり、生活クラブ東京は4つの生協の連合会で組合員は72,507人。

場を提供して地域とのつながりを作っていくことが財産になっています。

大事にしていることは『人を育てること』社会の課題を地域で解決を目指す人々の育成こそ、使命であり、価値である。

<主な事業>

- * 協同購入：班配送、個別配送、デポー(9店舗)
- ・配送(一部)をワーカーズへ委託、デポー運営も担当
- FEC(フード、エネルギー、ケア)自給圏構想の各事業
- * 他に、福祉事業や都議会などへの議員輩出など

立川市消費者団体連絡会

報告者：会長 横幕 玲子 さん



<団体紹介> 設立当時は20以上あった団体が2013年には4団体となり解散の危機に。そこで、子育て広場に参加している若いお母さん達にアンケートをとり、講座を企画しました。若い人や初めての参加者が多く、今では消団連の看板になっています。

自分達の活動の幅を広げるために、連携相手を探しながら活動しています。

<主な活動と連携>

- * 新しいネットワーク
- 保育研究会の参加と休会していた団体の復帰
- * 「子育て世代のくらしエンジョイ講座」(4講座)実施
- * 2015年 新しい消費者団体の誕生
- * くらしフェスタ立川実行委員会、農消連携会議、立川市商工会議所 等との連携

【ワークショップ(7グループ)と発表】

テーマ：私たち消費者団体が元気になるために！

ヒントになったこと、取り組みたいこと

- * 高齢者を取り込む。おじさん向けの企画
- * 地域の活動を知る
- * 好きな活動でつながる
- * 興味関心のあることでつながる
- * 違う世代が集まれる場所をつくる
- * 社会経験の豊富な人を取り込む
- * 若い人のニーズを捉える
- * こちらからおせっかいをしに出て行く
- * 若い人たちに活動を分かってもらう
- * 参加者の中から参画者になってもらう
- * 生活環境全般に目を向ける
- * ゆるいつながりを認める
- * 市民団体との連携
- * 成功事例を報告しあう
- * 3~4年経ったら次の人へバトンタッチする
- * できたことを可視化する

【アンケート結果概要】 アンケート回収：33枚

- 豊島子ども WAKUWAKU ネットワークの報告：
大変よかった・良かった 100%
- 活動報告： 大変よかった・良かった 97%
- ワークショップ： 大変よかった・良かった 88%
- 全体を通して： 大変よかった・良かった 94%

<感想・意見>

- * 多彩な活動と実践があり、少し元気がでたかな。
- * 皆さん各々の地域で頑張っていることを感じました。共通の悩みは若い世代の取り込みをどうしたらよいか、ということ。発想の転換、世代に寄り添った企画など模索する日々が続きます。
- * 共通の悩みもあり、情報を共有することで、人のつながりを大事にして活動を続けたいです。

【閉会挨拶】 皆さんの報告を聞いて、まだまだ知らないことが多くあることに気づかされた会でした。活動を長く続けることは大事ですが、社会の問題にも目を向けて頑張っていかなければと思います。